

2010年3月期 第1四半期決算説明会

- 低価格政策の推進で商品力を強化。
- 出店基準を守り今期30店舗を出店、着実に店舗網を拡大。



株式会社ワークマン

2009年8月12日

- ・第1四半期決算の概要P3~P9
- ・2010年3月期決算の見通しP10~P12
- ・取組み状況P13~P17
- ・第1四半期決算の詳細P18~P22

第1四半期決算の概要

2010年3月期決算の見通し

取組み状況

第1四半期決算の詳細

第1四半期決算の概要



<百万円、%>

	2009年3月期		2010年3月期	
	第1四半期累計期間(4月～6月)		第1四半期累計期間(4月～6月)	
	金額	前年同期比	金額	前年同期比
チェーン全店売上高	12,958	+2.2	11,907	△8.1
(既存店売上高)	—	+0.2	—	△10.4
営業総収入	9,206	+6.7	8,266	△10.2
営業利益	1,120	△1.3	776	△30.7
経常利益	1,364	+1.2	995	△27.0
四半期純利益	738	+0.9	545	△26.1
1株当たり四半期純利益	36円09銭		26円76銭	

第1四半期決算のポイント

出店状況

- 開店 7店舗、閉店 3店舗
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 4店舗
- 2009年6月末 632店舗
(2009年3月末比 +4店舗、2008年6月末比 +28店舗)

店舗運営形態

- フランチャイズ・ストア(FC店舗)2009年6月末 510店舗
(2009年3月末比 +9店舗、2008年6月末比 +18店舗)
- FC店舗比率 80.7%
(2009年3月末比0.9ポイント増、2008年6月末比0.8ポイント減)

商品力強化

- 低価格政策(エブリデー・ロー・プライス)商品176アイテムをさらに低価格へ見直し
- エブリデー・ロー・プライス商品の売上高 42億76百万円(前年同期比△1.5%)
- チェーン全店売上高に占める構成比35.9%(前年同期比2.4ポイント増)
- 販売点数構成比50.5%(前年同期比2.7ポイント増)

販売状況1

チェーン全店売上高 119億円

<前年同期増減率>

	チェーン全店	既存店
売上高	△8.1%	△10.4%
客数	△2.4%	△5.1%
1日当たり平均客数	—	94人(△5人)
客単価	2,350円	2,365円
	△5.9%	△5.6%
1品単価	836円	839円
1人当たり買上点数	2.8点	2.8点

<前年同期増減率>

チェーン全店 商品別売上	2009年3月期 第1四半期累計期間	2010年3月期 第1四半期累計期間
ファミリー衣料	+1.4%	△5.1%
カジュアルウエア	+0.0%	△8.8%
ワーキングウエア	△3.3%	△9.4%
履物	+6.2%	△4.4%
作業用品	+9.0%	△11.2%
その他	△3.3%	△1.8%
合計	+2.2%	△8.1%

※1日当たり平均客数は、運営形態により営業日数が異なる為、概数を記載しています。

販売状況2

既存店月間前年伸び率と今期の要因

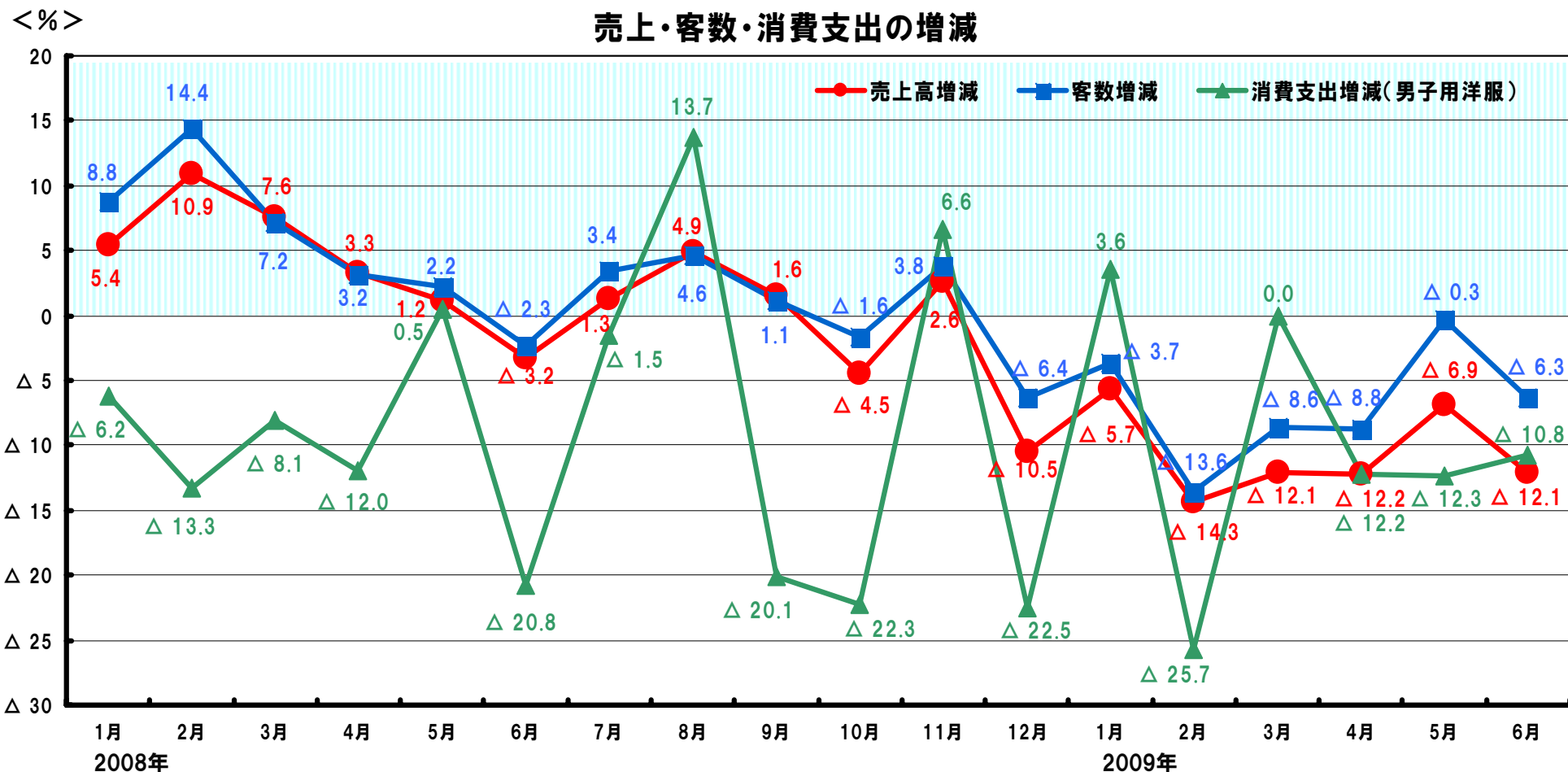
	4月	5月	6月	要 因
売 上	△12.2%	△6.9%	△12.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・景気低迷による雇用環境の悪化で、来店客数、客単価の減少。 ・建設業、製造業等の業績不振による作業服の買い替え需要の低下。
客 数	△8.8%	△0.3%	△6.3%	
客 単 価	△3.7%	△6.6%	△6.2%	
ファミリー衣料	△8.6%	△4.3%	△9.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・衣料品の買い控え。 ・気温が上昇しても夏物商品の動きは鈍い。
カジュアルウエア	△11.0%	△9.8%	△13.3%	
ワーキングウエア	△11.8%	△10.2%	△12.3%	
履 物	△8.5%	△3.1%	△8.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・前年大雨の反動で長靴、合羽の販売が低迷。 ・工場の稼働率の低下や工事現場の減少により、軍手、革手袋等の作業消耗品の販売が低迷。
作業用品	△16.9%	△7.6%	△15.7%	
そ の 他	△12.0%	+5.7%	△7.5%	<ul style="list-style-type: none"> ・5月は使い捨てマスクの特需で販売増。

不要不急の物は買わない傾向・買い控えの拡大

販売状況3



既存店月次推移と衣料品消費支出の推移



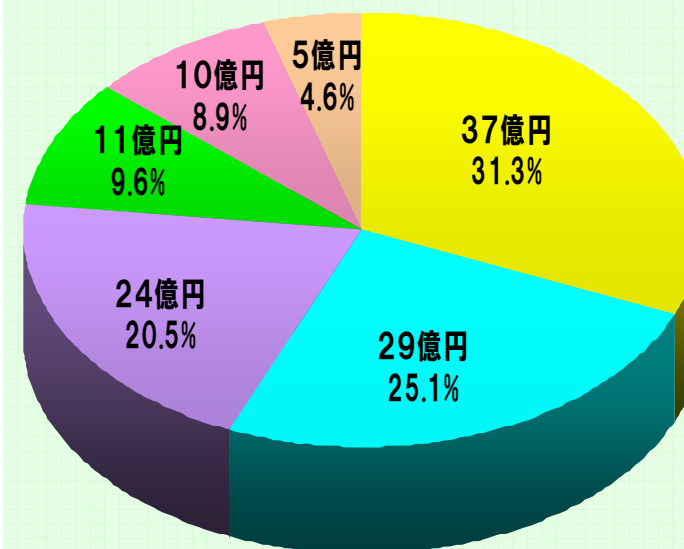
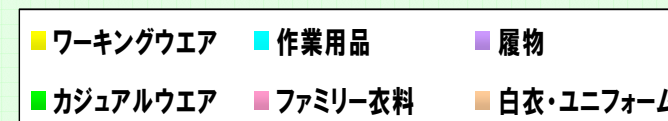
※消費支出の増減は、総務省統計局発表「家計調査報告(二人以上の世帯)」の男子用洋服の1世帯当たり1ヶ月間の支出の対前年同月実質増減率を基に作成しております。

商品別売上構成

■チェーン全店商品別売上構成比前年同期比較 (％)

		2009年3月期 第1四半期 累計期間	2010年3月期 第1四半期 累計期間	前年同期比
衣料	ファミリー衣料 肌着・靴下・帽子・タオル・ エプロンなど	8.6	8.9	+0.3
	カジュアルウエア ポロシャツ・Tシャツ・ハイネック シャツ・ブルゾンなど	9.7	9.6	△0.1
	ワーキングウエア 作業ジャンパー・作業ズボン・ つなぎ服・蓑衣料など	31.7	31.3	△0.4
用品	履物 安全靴・地下足袋・長靴・布靴・ 安全スニーカーなど	19.7	20.5	+0.8
	作業用品 軍手・革手袋・加工手袋・合羽・ ヘルメットなど	26.0	25.1	△0.9
その他	白衣・ユニフォーム 食品白衣・医療白衣・オフィス ユニフォーム・介護衣料など	4.3	4.6	+0.3
合計		100.0	100.0	

チェーン全店売上高119億円



※金額は表示単位未満を切り捨てております。

第1四半期決算の概要

 **2010年3月期決算の見通し**

取組み状況

第1四半期決算の詳細

決算の見通し



<百万円、%>

	2009年3月期		2010年3月期計画	
	金額	前期比	金額	前期比
チェーン全店売上高	49,469	△0.8	49,500	+0.1
(既存店売上高)	—	△3.2	—	△3.0
営業総収入	34,811	+1.5	35,751	+2.7
販売費及び一般管理費	7,091	+2.8	7,226	+1.9
営業利益	3,896	△11.5	3,967	+1.8
経常利益	4,826	△8.9	4,850	+0.5
当期純利益	2,710	△8.5	2,729	+0.7
1株当たり当期純利益	132円58銭		133円77銭	

2010年3月期決算の見通しポイント

チェーン全店売上高 495億 前期比+0.1%

- 既存店売上高前期比 $\Delta 3.0\%$
- " 客数前期比 $\Delta 2.0\% \sim +1.0\%$ を想定
- " 客単価前期比 $\Delta 4.0\% \sim \Delta 1.0\%$ を想定

利益の確保

- 売上高の増減に合わせた販売促進費のコントロール
(販促分配率5.4% 前期比1.1ポイント向上)
- 売れ筋作業用小物商品の荒利率の改善
(FC店舗荒利率34.7% 前期比0.1ポイント向上)
- 不採算店舗の早期クローズ

将来への投資を継続

- 低価格政策(エブリデー・ロー・プライス)による競合店舗との差別化
- 南関東等の人口密集地と山口県への出店を行いシェアの拡大
- 新CMとDMによる顧客アプローチ強化
- SV(店舗指導員)研修強化による販売力の向上

第1四半期決算の概要

2010年3月期決算の見通し

 **取組み状況**

第1四半期決算の詳細

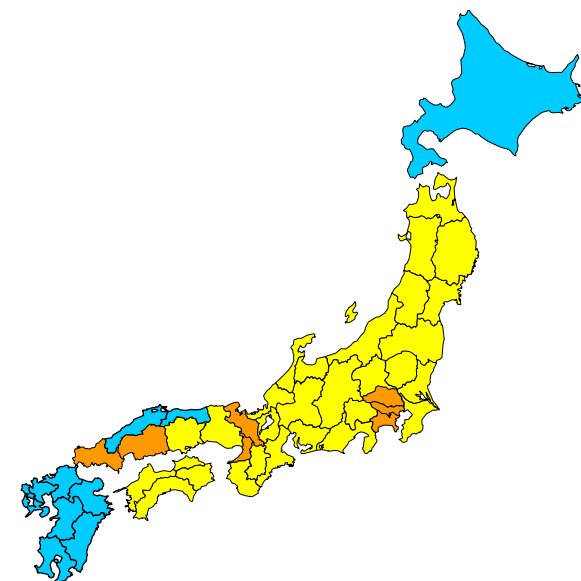
出店戦略

2010年3月期計画

- 開店 30店舗、閉店 7店舗で、651店舗(前期末比 +23店舗)
 今期の重点開発地区……東京都、神奈川県、埼玉県、大阪府、京都府、広島県、山口県
- スクラップ&ビルド(既存店の活性化) 5店舗

■出店状況

		<店舗数>		
		4月~7月 出店実績	開店準備中 (契約済)	通期計画
東	北	1	—	1
関	東	5	3	12
中	部	2	2	4
近	畿	1	6	6
中	国	3	1	7
合	計	12	12	30



- 出店地域(2009年7月末現在)
 - 重点開発地域
 - 未出店地域
- ※山口県は未出店(2009年7月末現在)

■スクラップ&ビルド(既存店の活性化)状況

4月~7月のスクラップ&ビルド 5店舗

- ・石巻蛇田店(宮城県) 4月実施
- ・坂戸店(埼玉県) 6月実施
- ・須坂店(長野県) 4月実施
- ・駒ヶ根店(長野県) 7月実施
- ・狭山笹井店(埼玉県) 5月実施

フランチャイズ(FC)化の推進

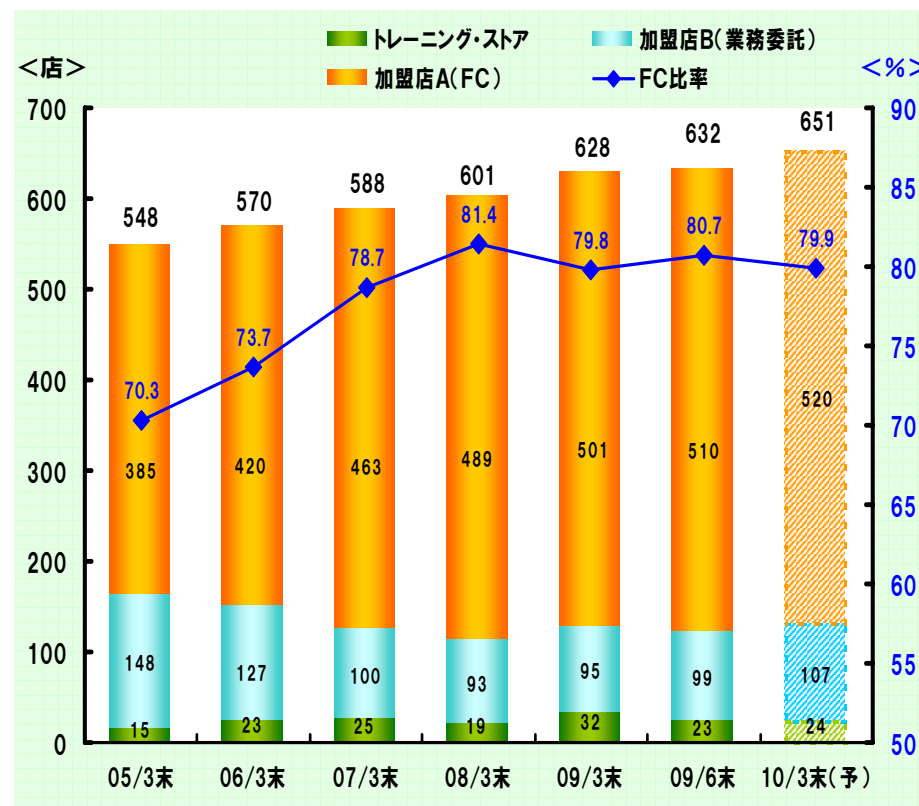
2010年3月期計画

- フランチャイズ・ストア(加盟店A契約)520店舗(前期末比 +19店舗)
- 直営店(加盟店B契約店舗、トレーニング・ストア)131店舗(前期末比 +4店舗)

FC化状況

・4月～6月の店舗運営形態の推移

	<店>		
	増加	減少	増減合計
加盟店A契約 (内新規加盟店数)	+12 (+3)	△3	+9
加盟店B契約 (内新規加盟店数)	+15 (+14)	△11	+4
トレーニング・ストア	+7	△16	△9



エブリデー・ロー・プライス(EDLP)商品の推進

2010年3月期計画

■チェーン全店売上高に占める構成比 38.0%(前期実績34.3%、前期比3.7ポイント増)

■EDLP商品販売状況(第1四半期累計期間)

- ・ミドルゾーン商品販売金額23億円 前年同期比+3.2%で好調に推移、売上構成比は2.1ポイント増
- ・超低価格商品販売金額19億円 前年同期比△6.5%、売上構成比は0.3ポイント増

■開発アイテムを絞り商品力を高める

- ・今後は売上に直結する強力なアイテムに絞ってEDLP商品を開発
- ・通期計画210アイテムへ修正(前期実績277アイテム、前期比67アイテム減)

	2009年3月期 第1四半期累計期間		2010年3月期 第1四半期累計期間			2010年3月期 通期計画	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	前年同期比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
超低価格	2,091	16.1	1,955	16.4	△6.5	9,700	19.6
ミドルゾーン	2,249	17.4	2,320	19.5	+3.2	9,100	18.4
EDLP合計	4,341	33.5	4,276	35.9	△1.5	18,800	38.0

今期開発の新商品

■ 超低価格商品一例

綿混ツイルキャップ
250円

従来商品売価580円



カックスシューズ
299円

従来商品売価399円



綿メッシュ靴下5足組
399円

従来商品売価780円



ドットライナー両面
すべり止め付き手袋
148円

従来商品売価198円



汗もニオイもすいとーる
半袖Tシャツ
500円

従来商品売価780円



MAX-FIT
ゴム背抜き手袋
158円

従来商品売価198円



■ ミドルゾーン商品一例

つま先鉄芯入り
安全スニーカー
980円

従来商品売価1,280円



つま先鉄芯入り
安全長靴
1,480円

従来商品売価1,900円



サマー綿混半袖シャツ・
カーゴパンツ
各 998円

従来商品売価1,500円



低価格志向に合わせて、魅力有るEDLP商品を開発

第1四半期決算の概要

2010年3月期決算の見通し

取組み状況

第1四半期決算の詳細

貸借対照表・損益計算書

貸借対照表1

<単位:百万円>

資産の部	2009年3月期 期末	2010年3月期 第1四半期末	増減	増減要因
流動資産	19,093	18,277	△816	
現金及び預金	9,731	9,108	△623	
加盟店貸勘定	4,678	4,532	△146	対象店舗が4店舗減少(468店舗→464店舗) フランチャイズ店舗の在庫が減少(1店舗当たり約23万円減少)
商品	3,840	3,812	△27	流通センター在庫が71百万円増加 店舗在庫が98百万円減少(直営店舗数5店舗減少)
固定資産	13,063	13,133	70	
有形固定資産	6,884	6,845	△39	
建物	2,647	2,622	△25	出店・閉店状況 出店7店舗、S&B4店舗、閉店3店舗 出店形態(S&B含む) 建物リース9店舗、オーナー兼加盟店契約1店舗、土地リース1店舗
土地	2,966	2,966	—	
無形固定資産	83	79	△4	ソフトウェア償却費を計上
投資その他の資産	6,094	6,208	113	
差入保証金	5,123	5,223	99	建物リース契約での地主への建設協力金の差し入れ
資産合計	32,157	31,410	△746	

貸借対照表2



<単位:百万円>

負債/純資産の部	2009年3月期 期末	2010年3月期 第1四半期末	増 減	増 減 要 因
流動負債	6,149	5,577	△571	
買掛金・加盟店買掛金	2,431	2,357	△74	
未払法人税等	989	350	△639	2009年3月期末 未払法人税等=確定納税額-予定納税額 2010年3月期第1四半期末 未払法人税等=4月～6月の利益に対する納税見込額
その他	1,318	1,499	181	
未払金	914	987	73	
固定負債	1,237	1,271	34	
負債合計	7,386	6,849	△537	
株主資本	24,769	24,560	△208	
純資産合計	24,770	24,561	△208	自己資本比率 78.2%(1.2ポイント向上)
負債純資産合計	32,157	31,410	△746	

損益計算書1



<単位:百万円、%>

	2009年3月期 第1四半期累計期間		2010年3月期 第1四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
営業収入	2,249		1,952		△13.2	
加盟店からの収入	1,451		1,256		△13.4	加盟店期中平均店舗数 当第1四半期 509店舗、前第1四半期 493店舗 16店舗増 加盟店売上高 当第1四半期 103億23百万円、前第1四半期 113億13百万円 8.7%減 景気低迷により作業服を中心とした衣料品の販売不振
その他の営業収入	797		696		△12.7	チェーン全店仕入高前年同期比12.4%減少 業務受託収入13.7%減少
売上高	6,957		6,314		△9.2	
直営店売上高	1,645	(100.0)	1,584	(100.0)	△3.7	直営店期中平均店舗数121店舗(9店舗増加)
加盟店向け商品供給売上高	5,311		4,730		△10.9	FC店期中平均店舗数509店舗(16店舗増加)
営業総収入	9,206	100.0	8,266	100.0	△10.2	
直営店売上原価	1,014	11.0	995	12.1	△1.9	
加盟店向け商品供給売上原価	5,311	57.7	4,730	57.2	△10.9	加盟店向け商品供給売上高と同額を計上
売上原価	6,326	68.7	5,725	69.3	△9.5	

損益計算書2



<単位:百万円、%>

	2009年3月期 第1四半期累計期間		2010年3月期 第1四半期累計期間			増減要因
	金額	百分比	金額	百分比	前年同期比	
売上総利益	(630)	(38.3)	(588)	(37.2)	△6.6	仕入れ割戻しの減少で売上総利益率 1.1ポイント悪化
営業総利益 (営業収入+売上総利益)	2,879	31.3	2,541	30.7	△11.8	
販売費及び一般管理費	1,759	19.1	1,764	21.3	+0.3	増減要因 人件費 約1,700万円増加 直営店期中平均9店舗増 約2,100万円増加 流通センター運営費用 約1,800万円減少 一般管理費 約1,470万円減少
営業利益	1,120	12.2	776	9.4	△30.7	
営業外収益	247	2.6	225	2.7	△8.9	
営業外費用	3	0.0	6	0.1	+74.6	リース会計適用で支払利息が約290万円増加
経常利益	1,364	14.8	995	12.0	△27.0	
特別利益	2	0.0	1	0.0	△50.5	
特別損失	13	0.1	6	0.1	△47.9	固定資産除却損 閉店3店舗、S&B4店舗で約500万円 減損損失 閉店(7月)店舗が2店舗で約150万円
四半期純利益	738	8.0	545	6.6	△26.1	

本資料お取扱に関してのお願い

- 本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、投資家の皆様ご自身の判断で行われるようお願い致します。
- 本資料は正確性を期すために慎重に作成しておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承下さい。
- 本資料中の業績予想及び事業計画等の将来の見通しは、作成時点で入手可能な情報から作成しておりますが、事業環境が大きく変動することも考えられることから、実際の業績が見通しと大きく異なる可能性があることをご了承下さい。

**説明会にご出席いただき
ありがとうございました。**



株式会社ワークマン
銘柄コード: 7564 (JASDAQ)

お問い合わせ先: 経営企画部IR室

TEL: 03-3847-8190

E-mail: wm_seibi@workman.co.jp

<http://www.workman.co.jp/>